

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	海岸公園の一部（冒険広場及びキャンプ場を含む。）
2	指定管理者	冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体
3	指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 156,511人（前年度比130.8%…ただし、前年度は7～3月） ※有料施設（デイキャンプ場）利用数：1,834サイト13,592人（前年度比140.3%） （過去実績）平成30年度 119,650人（デイキャンプ場9,686人）
		《事業》 別紙参照
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 26,918千円 (27,288千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 1,022千円 (576千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ① アンケートの実施状況と結果 平成31年4月～令和2年3月に来園者アンケートを実施。（アンケート結果は別添のとおり） ② その他の手法（利用者懇談会等）による評価の実施状況と結果 海岸公園冒険広場運営委員会を組織し、半年に1回、地域や地域施設、関連機関からの意見を聞くこととしている。（令和元年度は、6月26日、1月24日の2回開催）

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	設置目的を理解し、避難の丘を十分に活用した管理運営を行っている。	24/24
II 施設の運営管理体制	適切な人員配置を行っており、利用者に十分に配慮した運営体制構築等を行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設等について十分に管理が行われており、外構・植栽等についても、環境への配慮を行いながら管理を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	アンケート等を通じて利用者の様々な声を集め、施設や運営改善に努めており、来園満足度を向上させる取り組みを行っている。	28/28
V 施設固有の基準	様々な事業者や団体と協力した環境にまつわる自主事業の開催や、他地区の指定管理者と連携し、海岸公園全体の魅力を伝えるイベントを実施するなど、賑わいや交流等の創出に努めている。	5/4

三 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>東日本大震災以降一年を通して開園する最初の年となった令和元年度は、11月まではアクセス路が制限されて大回りが必要な状況でもあり、同期の来園者数は前年よりも少なくはなったものの、東部復興道路開通を受け12月以降は前年比増に転じ、12～3月の合計で震災前も含めて最多の3万人を超える来園者数となった。また、開通前についても、デイキャンプ場利用者数を見ると、台風等悪天候の影響を大きく受けた10月までは前年より5割近く利用者を伸ばすなど、高いニーズと利用者からの評価を感じている。</p> <p>難しい状況においても一定の支持を得られたのは、冒険遊び場を中心に、さまざまな道具・材料等も準備しながら、四季それぞれの公園の魅力を見出し、来園者に公園の楽しみ方を伝えていくことができたことが大きい。特に、来園者の少ない冬季に、広報紙やSNSも含めたwebサイトを通じて、寒く日も短い時期だからこそその楽しみを積極的に伝えていくことの効果はあったと感じている。</p> <p>また、園内だけでなく周辺部でも広く自主事業を展開していることの意義も大きい。本年度は、海岸公園指定管理者間で共同実施した「馬に乗って荒浜を知る」企画、沿岸部交流施設間で連携した「海手めぐりキャンペーン」なども新規で実施し、被災の影響がまだ残る沿岸地域全体の魅力発信・交流促進に寄与することができた。</p> <p>また再開後の重要な役割である震災伝承・防災についても、園内の痕跡保存も含めた震災を伝えていく活動、避難の丘の防災あずまの設営訓練・模擬展示を行なった他、若林消防署と共催の防災イベントを初めて企画するなど（秋休みに実施する予定だったが、台風19号の影響で中止となった）、新たな取り組みも行なった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策においては、注意喚起・消毒・利用休止等の対策の他、密集地の隣接区画をひろびろ遊べる場にするなど、ソフト面での工夫による対応も行なっている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の再開後、周囲の環境が変化中、園内を十分に管理しており、施設運営の基本的な考え方に沿ったリスクマネジメントを行いながら、子供達が自らの創造性や主体性を向上できるあそび場を提供し利用者のニーズに応じている。HPや情報誌等を通じた情報発信も十分に行い、防災の日等に防災あずまの設営訓練を引き続き実施するなど、震災の経験を伝え防災意識の啓発に繋がるよう、施設の特徴を生かした運営を行っている。また、様々な事業者や行政、環境団体等と協働した自主事業や、海岸公園他地区の指定管理者との共同イベント「馬に乗って荒浜を知る」を実施し、東部沿岸地域の賑わい創出に繋がる取り組みを行い、交流促進に努めており、施設の役割を十分に果たしている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課